

アジア

オセアニア

豆/知/識

中国の出生数には干支が関係！？

日本では数字の“4”や“9”、西洋では“13”が不吉な数字とされています。こうした迷信のようなものは世界各地に存在します。

中国の場合では、干支を重んじる慣習が古くから残っており、特に出産に関しては、子供の干支を気に掛ける親が多く、中国の出生数に影響しているといわれます。中国での干支と出生数の関係について詳しく調べてみました。

未（ひつじ）年は不人気、出生数は減少！？

2015年の出生数は1,655万人となり、前年と比べて32万人の減少となりました。この**中国の出生数減少の背景には、干支が関係しているのでは**といわれています。

2015年の干支は、“未年”でした。未はかわいらしい干支のイメージですが、**中国では大人しい印象から少し頼りないとされ、不人気な干支**としてとらえられているようです。そのため、「未年よりも、一年早い午（うま）年になんとか産んであげたい」という親心から、中国の病院の中には、出産に関する相談のラッシュが続いたそうです。



かわいらしい未ですが
中国では不人気な傾向



中国で申は大人気

申（さる）年は打って変わり、縁起が良い！

さて、2016年の干支は“申年”です。**申は古来より、「賢くてかわいい」という印象から縁起の良いもの**とされています。申年の影響からか、北京にある病院の産婦人科では予約が3割も増えたというニュースもありました。

中国の一人っ子政策が廃止されたことなどもあり、**2016年の中国の出生数は昨年と比べて伸びると見込まれています**。赤ちゃんの誕生によって、たとえば、おじいちゃん、おばあちゃんが誕生祝などを奮発するということに、使うお金が多くなると考えられます。そのため、出生数が増えると消費は拡大すると予想され、経済にはプラスに働きます。申年の赤ちゃんの増加は、中国景気に良い影響を与えるかもしれませんね。

(注) 各報道資料等を基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。